

令和6年度

向台小学校

1年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：
(活動名)

きせつとなかよし あき

ねらい：

秋の自然を諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見付け、それらで遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりすることができ、自然や生活の様子の変化、自然のおもしろさや不思議さ、野原や公園のきまりを守ることなどについて気付き、季節の遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。

【10月】

「校庭の秋を
見付けよう」



校庭にはどんな秋がありそうかを予想し、校庭へ秋を探しに行きました。夏と比べて気温や葉の様子が変わっていることに気が付きました。

【10月】

「向台公園の秋を
見付けよう」



校庭と比べて公園にはどんな秋が見付けられるか予想してから公園に行きました。どんぐりや銀杏を見付け、足で踏んだ感触まで秋を感じました。

【10月】

まちなか先生
「どんぐり
アート」



市役所の社会教育課の方をお招きし、昔はどんぐりを煮て食べていたこととお話していただきました。どんぐりのルーツを知った後、どんぐりを飾り付けしました。

【11月25日】

保育園との
交流会
「あきまつり」



見付けた秋を使って、「あきまつり」を計画しました。自分たちが作った秋のおもちゃで、保育園児に遊んでもらったり、一緒に遊んで楽しんだりしました。

まとめ

子どもたちにとって身近な校庭から秋探しをし、次第に範囲を広げていくことで、様々な秋を見付けることができました。見付けた秋をどんぐりアートや秋のおもちゃ作りとして活用することで、より秋を身近に感じるとともに、地域の自然や協力してくれる方々を知るきっかけとなりました。